

第3学年グローバル・スタディ科シラバス

第3学年の目標

- ・外国語でのコミュニケーションにおける見方・考え方を学ぶ。
- ・外国語を聞くこと、読むこと、話すこと（やり取り・発表）、書くことの言語活動を通して、コミュニケーションを図る。
- ・簡単な情報や考えなどを理解し、表現したり伝え合ったりする資質・能力を育成する。

教科の目標と学校教育目標を達成するために目指す授業

- ・英語でコミュニケーションを図ることができる授業
- ・生徒の興味・関心をとらえた授業
- ・生徒が主体的に学ぶことができる授業

学習の仕方

- ◇新出語句や基本文を覚える。
- ◇単語を覚える時は、声に出しながら正しく読む。
- ◇音読をする時は、英語の音声の特徴を意識して正しく発音する。
- ◇基礎力・応用力を定着させるために、ワークなどを使って学習する。

学習を効果的に進めるため、家庭にお願いしたいこと

- 教科書やノートなどの授業に必要な道具を忘れないように声かけをお願いします。
- 授業の復習や宿題に取り組む姿を見てあげてください。

年間の指導計画

学期	
1学期	PROGRAM 1 PROGRAM 2 Step1 PROGRAM 3 Power-Up1 Step2 Our Project 7
2学期	Reading 1 Step3 PROGRAM 4 PROGRAM 5 Power-Up2 Step4 PROGRAM 6 Our Project 8 Power-Up3 PROGRAM 7 Power-Up4 Reading 2
3学期	Special Project Further Reading 1 Further Reading 2 Further Reading 3
授業時数 157時間	

観点別評価と評価の観点、評価方法

◇知識・技能

【知識及び技能の習得状況について評価を行うとともに、それらを既習の知識及び技能と関連付けたり活用したりする中で、他の学習や生活の場面でも活用できる程度に概念等を理解したり、技能を習得したりしているかについても評価する。】

- ・定期テスト
- ・小テスト/ワークシート
- ・英語を使用する場面

◇思考・判断・表現

【知識及び技能を活用して課題を解決する等のために必要な思考力、判断力、表現力等を身に付けているかを評価する。】

- ・定期テスト
- ・英作文
- ・パフォーマンステスト（音読テスト、スピーチなど）

◇主体的に学習に取り組む態度

【知識及び技能を習得したり、思考力、判断力、表現力等を身に付けたりするために、自らの学習状況を把握し、学習の進め方について試行錯誤するなど自らの学習を調整しながら、学ぼうとしているかどうかという意志的な側面を評価する。※単に継続的な行動や積極的な発言を行うなど、性格や行動面の傾向を評価するということではない。】

- ・ノートにおける記述
- ・単元ごとのまとめ